

雨水対策の進捗状況

平成26年1月24日
東京電力株式会社

() 雨水を汚染源に近づけない対策

雨どいの設置

雨どい

タンク

雨どい

□雨どい設置により、約60%の雨水流入を抑制

対策の進捗

汚染の比較的高いエリアのタンク（対象タンク数：63基）
設置完了 H26年1月9日 運用開始
その他エリアのタンク（対象タンク数：309基）
一部着手【H26年3月末・設置完了予定】

コンクリート堰の塗装

□清掃・ウレタン塗装による被覆後は約1/5～1/10にストロンチウム濃度が減少すること、水密性も確保できることを確認。

対策の進捗

施工中【H26年3月末完了予定】
1月23日時点：34% (11,800m² / 35,000m²) 完了

() 雨水（基準値超過）を外に漏らさない対策

タンク周辺の対策

浸透防止工

排水タンク

外周堰

排水ピット

緊急時排水弁閉運用

鋼材によるかさ上げ

コンクリート堰高さのかさ上げ

対策の進捗

鋼材によるかさ上げ（30cm）
H25年12月28日 対象25箇所完了
コンクリート等によるさらなるかさ上げ
【H26年3月末完了予定】

側溝の対策(B排水路暗渠化)

止水ゲート設置

排水路Bライン (FRP管にて暗渠化)

排水路Cライン (暗渠化済み)

対策の進捗

現在施工中
【H26年1月末・暗渠化完了予定】
1月23日時点：98%完了

**連続監視モニタの設置
港湾内排水路付替工事**

連続モニタ設備

排水路

止水ゲート(2門)

連続モニタ設備設置の進捗

海への流出経路となる排水路において放射能を検知するための連続監視用モニタを設置
据付工事完了 現在、モニタ試運用中
【H26年3月末設置完了予定】

ウレタン塗装

かさ上げ材料

コンクリート

コーキング

切り欠き箇所

港湾内排水路付替工事の進捗

排水先を外洋から港湾内に切り替えるルートを設置
現場測量完了 現在、設置工事準備中
【H26年3月末設置完了予定】

汚染水対策の進捗状況(護岸エリア)

緊急対策

汚染源除去……………①トレンチ内高濃度汚染水の除去【取り除く】
 汚染水増加の抑制……………②建屋山側の地下水くみ上げ(地下水バイパス)【近づけない】
 港湾への流出防止……………③汚染エリアの地盤改良・地下水くみ上げ・地表舗装【漏らさない】【近づけない】

抜本対策

海洋流出の阻止……………①海側遮水壁の設置【漏らさない】
 汚染水増加抑制・港湾流出の防止……………②陸側遮水壁(凍土方式)の設置【近づけない】【漏らさない】
 原子炉建屋等への地下水流入抑制……………③サブドレンからの地下水くみ上げ【近づけない】



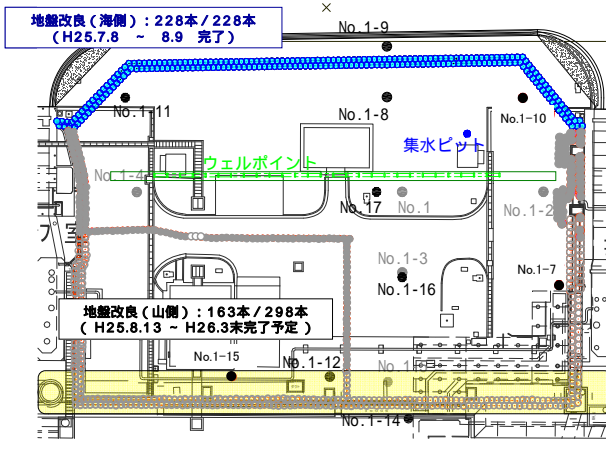
() 汚染エリアの地盤改良

地盤改良(水ガラス注入)の進捗

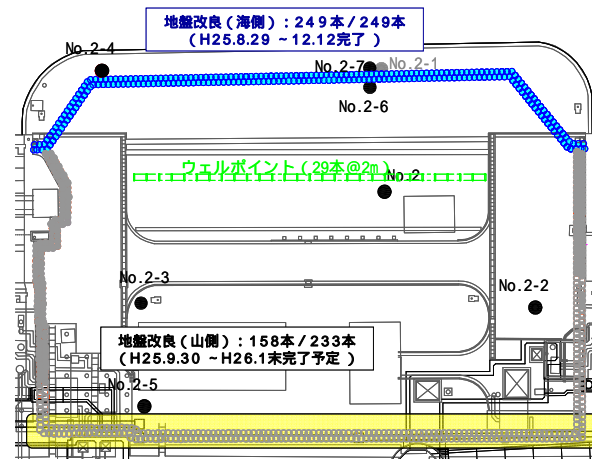
※平成26年1月17日時点

海側の地盤改良(水ガラス注入)については、1-2号機・2-3号機間は完了し、3-4号機間も1月末に完了予定です。

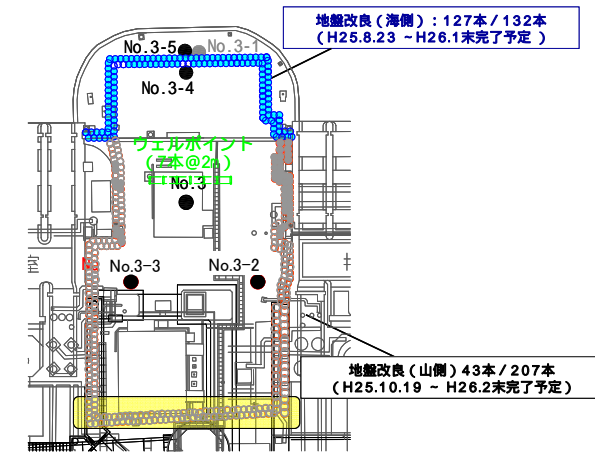
1-2号機間の進捗状況



2-3号機間の進捗状況



3-4号機間の進捗状況

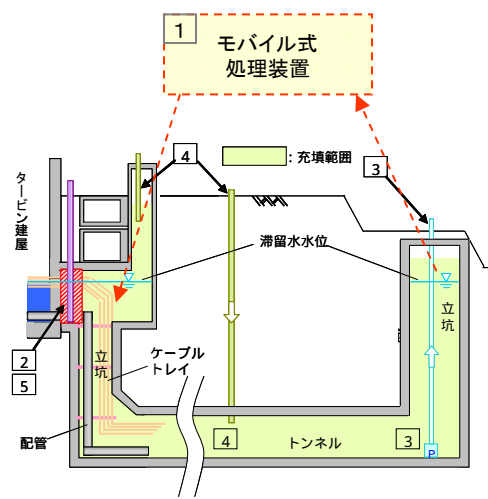


施工範囲・工程は現場状況により変更の可能性あり
 マスキングエリアの地盤改良実施要否については、今後検討

() トレンチ内高濃度汚染水の除去

主トレンチ・対策の概要

- 【ステップ1】 トレンチ内の浄化
平成25年11月開始
- 【ステップ2】 建屋接続部を凍結止水
施工準備中
- 【ステップ3】 主トレンチ内汚染水を移送
- 【ステップ4】 主トレンチ立坑充填
- 【ステップ5】 建屋接続部の解冻、充填



【ステップ1】 トレンチ内の浄化の進捗

2・3号機主トレンチそれぞれにモバイル式の処理装置を設置。平成25年11月より処理運転開始。

【処理能力】(単位:ペクレル/リットル)

採取日:平成26年1月13日(処理装置・入口→出口の値を測定)

○2号機

- ・セシウム134 : 11,100,000 → 1,760
- ・セシウム137 : 26,500,000 → 4,850

○3号機

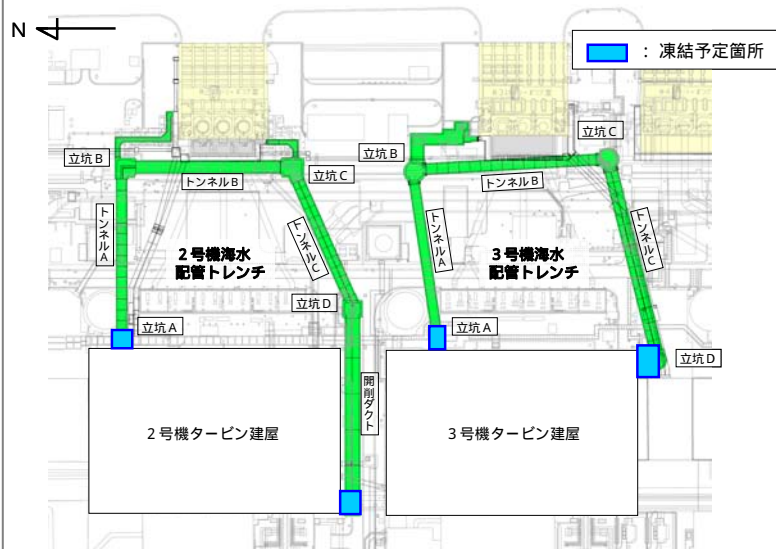
- ・セシウム134 : 454,000 → 12,500
- ・セシウム137 : 1,110,000 → 29,800



モバイル式処理装置の外観

【ステップ2】 凍結止水の概要・進捗

凍結止水予定箇所



- 2号機: 立坑A・開削ダスト
 - 3号機: 立坑A・立坑D
- を凍結予定

全体工程

○2号機

- ・3月末より凍結止水開始、5月頃凍結完了予定。
- ・5月以降降水抜き(ステップ3)開始予定。水抜き後、内部の充填(ステップ4)を実施。

○3号機

- ・5月以降凍結止水開始、7月末頃凍結完了予定

【新規】 タンクの増設計画の見直しについて

○開発目標のペースアップ

- ・汚染水等を貯めるタンクの増設ペースを早めるため、4万m³/月でのタンク新設(全て溶接型)を計画しました。(H26年7月以降。従前は1.5万m³/月の新設を計画)

○完成したタンクを海上輸送

- ・タンク(溶接型)は、現地にて溶接を行い設置していましたが、従来の方式に加え、完成したタンクを海上輸送し設置する対応を進めます。

○大型タンクの設置

- ・これまでは単基容量1,000m³ないし2,400m³のタンクの設置を計画していましたが、メーカー設計等をふまえ、最大2,900m³の大型タンク等の設置も進めてまいります。

当初計画
H27年6月完了

工程の
前倒し

計画見直し
H27年2月完了

福島第一原子力発電所20km圏内海域における魚介類の測定結果

1. 定点モニタリング結果概要

(1) 底曳き網調査点における測定結果(網掛けは前回報告からの追加データ)

地点(採取日)	魚種名 (青文字の魚は基準値100ベクレル/kg超え、括弧内はCs134、Cs137の合計(Bq/kg))
底1 (9/24)	コモンカスベ、ヒラメ、ホウボウ、カナガシラ、チダイ
底1 (10/29)	イシガレイ、マコガレイ、ホシザメ、カナガシラ、ヒラメ、マアナゴ、マガレイ、チダイ、マトウダイ、メイタガレイ コモンカスベ(120)
底1 (11/21)	コモンカスベ、イシガレイ、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、カナガシラ、チダイ、マアナゴ、マガレイ、マトウダイ、ムシガレイ
底1 (12/24)	ババガレイ、コモンカスベ、ヒラメ、スズキ、アイナメ、イシガレイ、マアナゴ、ギンアナゴ、マガレイ、チダイ、カナガシラ、ホウボウ、ムシガレイ

底2 (9/24)	コモンカスベ、ホウボウ、ヒラメ、マトウダイ、イシガレイ、マガレイ、ギンアナゴ、ホシザメ、チダイ、ジンドウイカ、マアジ、メイタガレイ
底2 (10/29)	マコガレイ、ヒラメ、ホシザメ、メイタガレイ、アイナメ、マトウダイ、ギンアナゴ、オオクチイシナギ、カナガシラ、シログチ、チダイ、ブリ、マアジ、ムシガレイ
底2 (11/21)	コモンカスベ、ヒラメ、スズキ、メイタガレイ、マコガレイ、アイナメ、アカエイ、マガレイ、ホシザメ、カナガシラ、チダイ、マアナゴ、マトウダイ、ムシガレイ
底2 (12/24)	コモンカスベ、スズキ、アイナメ、メイタガレイ、イシガレイ、ヤナギムシガレイ、ババガレイ、マガレイ、マトウダイ、マアナゴ、カナガシラ、チダイ、シログチ、ヒラメ、ホウボウ、ムシガレイ



底3 (8/11)	ホシザメ、マダイ、マガレイ、ヒラメ、マコガレイ、カナガシラ、イシガレイ、ホウボウ コモンカスベ(104)
底3 (9/7)	コモンカスベ、イシガレイ、ヒラメ、マコガレイ、ホシザメ、カナガシラ
底3 (11/23)	アイナメ、ヒラメ、コモンカスベ、イシガレイ、マコガレイ、マガレイ、スズキ、ホシザメ、シヨウサイフグ、チダイ
底3 (12/14)	アイナメ、イシガレイ、コモンカスベ、スズキ、マコガレイ、マガレイ、ヒラメ、カナガシラ、マアナゴ

底4 (8/11)	コモンカスベ、マコガレイ、ホシザメ、ムシガレイ、イシガレイ、カナガシラ、マダイ、アイナメ、ヒラメ、マガレイ
底4 (9/7)	コモンカスベ(104) 、マコガレイ、ホシザメ、イシガレイ、ヒラメ、カナガシラ、ホウボウ、チダイ、マトウダイ
底4 (11/23)	コモンカスベ、マコガレイ、ホシザメ、マガレイ、イシガレイ、カナガシラ、チダイ、マトウダイ、ムシガレイ
底4 (12/24)	ババガレイ、マコガレイ、ホシザメ、メイタガレイ、ヒラメ、スズキ、マガレイ、イシガレイ、ホウボウ、カナガシラ、マアナゴ コモンカスベ(201)

(2) 刺し網調査点における測定結果(網掛けは前回報告からの追加データ)

地点(採取日)	魚種名 (青文字の魚は基準値100ベクレル/kg超え、括弧内はCs134、Cs137の合計(Bq/kg))
刺1 (9/6)	ヒラメ、ニベ、ガザミ、ヒラツメガニ コモンカスベ(114)
刺1 (10/31)	スズキ、コモンカスベ、ヒラメ、クロソイ、マコガレイ、ケムシカジカ、ホシザメ、ガザミ
刺1 (11/29)	ババガレイ、ケムシカジカ、コモンカスベ、クロダイ、ヒラメ、ガザミ スズキ(173)、クロソイ(163)
刺1 (12/27)	コモンカスベ、ヒラツメガニ、ヒラメ クロソイ(182)

地点(採取日)	魚種名 (青文字の魚は基準値100ベクレル/kg超え、括弧内はCs134、Cs137の合計(Bq/kg))
刺2 (9/6)	マコガレイ、コモンカスベ、ヒラメ、メジロザメ属、ホシザメ、ヒラツメガニ、ガザミ
刺2 (10/31)	カスザメ、コモンカスベ、クロダイ、ヒラメ、マアジ、ドチザメ、アカエイ、ガザミ、シログチ、シロザケ
刺2 (11/29)	コモンカスベ、ケムシカジカ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ、アカエイ、イシガレイ シロメバル(101)
刺2 (12/27)	コモンカスベ、ヒラメ、マコガレイ

刺3 (9/13)	ホシザメ、マトウダイ、ホウボウ、ヒラメ、ニベ、マダイ、イシガレイ、ガザミ カスザメ(104)、コモンカスベ(101)
刺3 (10/31)	コモンカスベ、ヒラメ、ニベ、ホシザメ、メジロザメ属、ヒラツメガニ、ガザミ イシガレイ(147)
刺3 (11/15)	ババガレイ、コモンカスベ、ヒラメ、ホシザメ、ホウボウ、ガザミ、シロザケ、ブリ
刺3 (12/13)	コモンカスベ、クロソイ、ケムシカジカ、スズキ、ヒラメ、ヒラツメガニ、ガザミ、クサウオ



刺4 (9/13)	ババガレイ、カスザメ、アカエイ、ヒラメ、マダイ、ニベ、メジロザメ属、ガザミ、マトウダイ コモンカスベ(171)
刺4 (10/10)	コモンカスベ、ヒラメ、アカエイ、マダイ、アイナメ、メジロザメ属、チダイ、ガザミ
刺4 (11/15)	カスザメ、アイナメ、アカエイ、マコガレイ、ヒラメ、ケムシカジカ、ホシザメ、ホウボウ、ガザミ、ブリ ドチザメ(192)、コモンカスベ(170)、ババガレイ(145)
刺4 (12/13)	コモンカスベ、マコガレイ、アイナメ、ヒラメ、スズキ、ガザミ、クサウオ、ヒラツメガニ、マダコ ババガレイ(253)、シロメバル(226)、カスザメ(101)

刺8 (10/6)	マゴチ、ホシザメ、ホウボウ、ニベ、ヒラメ、ガザミ コモンカスベ(182)
刺8 (11/9)	コモンカスベ、マコガレイ、ホシザメ、ヒラメ、ホウボウ、メジロザメ属、ケムシカジカ、アカエイ、ガザミ、ヒラツメガニ
刺8 (11/18)	ヒラメ、マゴチ、カスザメ、ホシザメ、ホウボウ、アカエイ、ガザミ コモンカスベ(101)
刺8 (12/9)	コモンカスベ、ホウボウ、クサウオ、マダコ カスザメ(279)

刺7 (8/19)	ヒラメ コモンカスベ(235)、ドチザメ(205)
刺7 (9/20)	コモンカスベ、アイナメ、ヒラメ、マコガレイ、ニベ シロメバル(350)
刺7 (11/25)	カスザメ、マコガレイ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ ドチザメ(1070)、コモンカスベ(141)
刺7 (12/2)	ヒラメ、ドチザメ マコガレイ(322)、カスザメ(142)、コモンカスベ(105)

刺5 (8/19)	コモンカスベ、ヒラメ、アイナメ、ガザミ ババガレイ(140)
刺5 (9/20)	ヒラメ、アイナメ、ニベ、マダイ、ホシザメ ドチザメ(112)、コモンカスベ(107)
刺5 (11/25)	ヒラメ、ホウボウ コモンカスベ(171)、ババガレイ(120)
刺5 (12/2)	ヒラメ、マトウダイ、クロダイ、ニベ、ガザミ クロソイ(400)、コモンカスベ(192)、カスザメ(126)

(3) 放射性セシウムの最大値による分類

H25年10月～12月の測定結果(直近約3ヶ月)

【福島第一原子力発電所20km圏内(同所港湾内を除く)】

- ・放射性セシウム134, 137の合計値 単位:ベクレル/kg(生)
- ・基準値(平成24年4月1日以降):100 ベクレル/kg
- ・平成25年10月6日～12月27日に採取

魚種名	最大値	最小値	測定回数 (基準値超数)
ドチザメ	1070	5.5	4(2)
クロソイ	400	20.5	5(3)
マコガレイ	322	13.5	15(1)
カスザメ	279	36.7	8(4)
ババガレイ	253	7.7	10(3)
シロメバル	226	101	2(2)
コモンカスベ	201	91	29(9)
スズキ	173	7.4	10(1)
イシガレイ	147	ND	10(1)
ヒラメ	75	ND	28
アイナメ	73	6.5	11
ケムシカジカ	68	6.1	6
マゴチ	52	49	2
アカエイ	38	ND	7
クロダイ	33.9	22.1	3
ホシザメ	33.8	4.4	13
マトウダイ	22.3	ND	7
メイトガレイ	21.7	ND	6
マガレイ	21.2	ND	9
ホウボウ	16.5	ND	10
ニベ	15.3	4.3	3
マダイ	14.8	-	1
メジロザメ属	12.4	6.6	3
ヤナギムシガレイ	10.3	-	1
ヒラツメガニ	10.2	ND	5
カナガシラ	7.7	ND	9
マアジ	7.1	ND	2
マアナゴ	5.9	ND	7
チダイ	5.7	ND	9
ギンアナゴ	5.3	4.4	2
ショウサイフグ	5.3	-	1
オオクチシナギ	ND	-	1
ガザミ	ND	-	13
クサウオ	ND	-	3
シログチ	ND	-	3
シロザケ	ND	-	2
ブリ	ND	-	3
マダコ	ND	-	2
ムシガレイ	ND	-	6

図 放射性Csが基準値を超えた測定回数の割合の経時変化

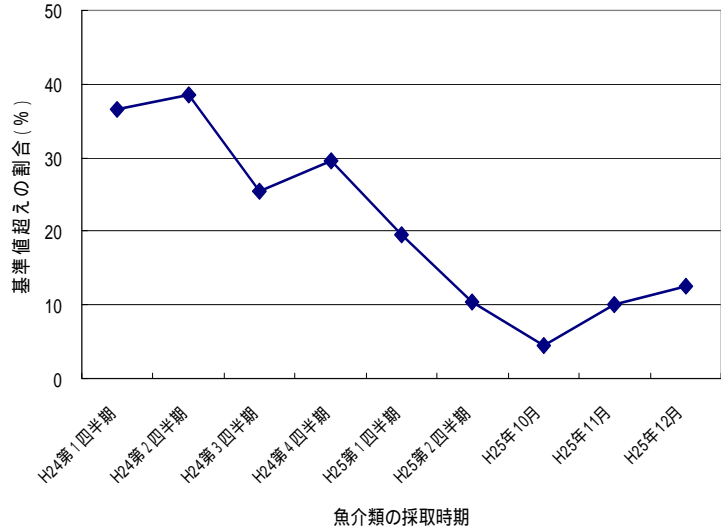
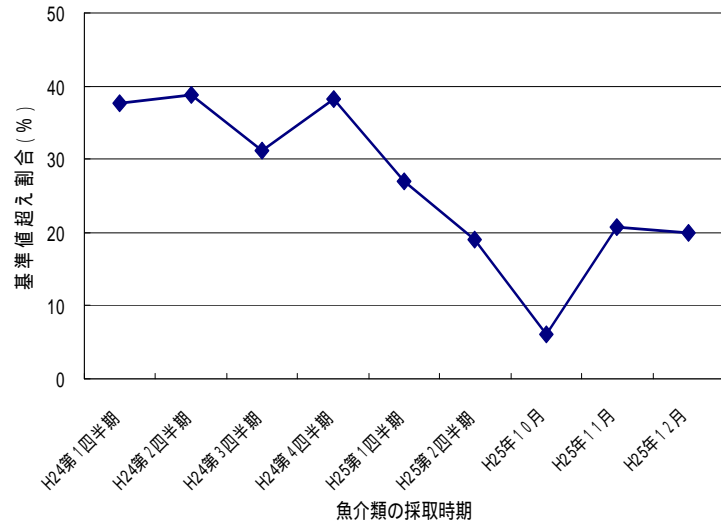
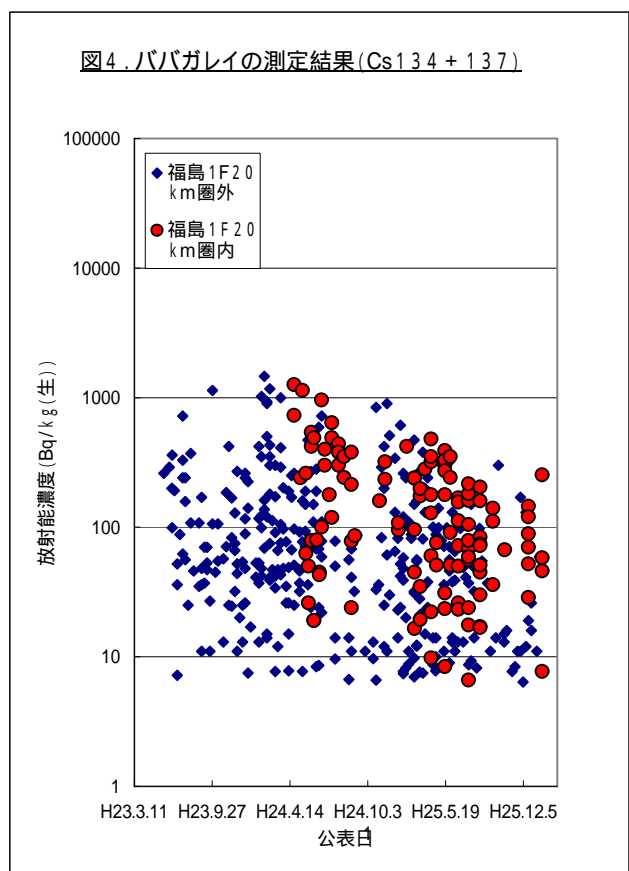
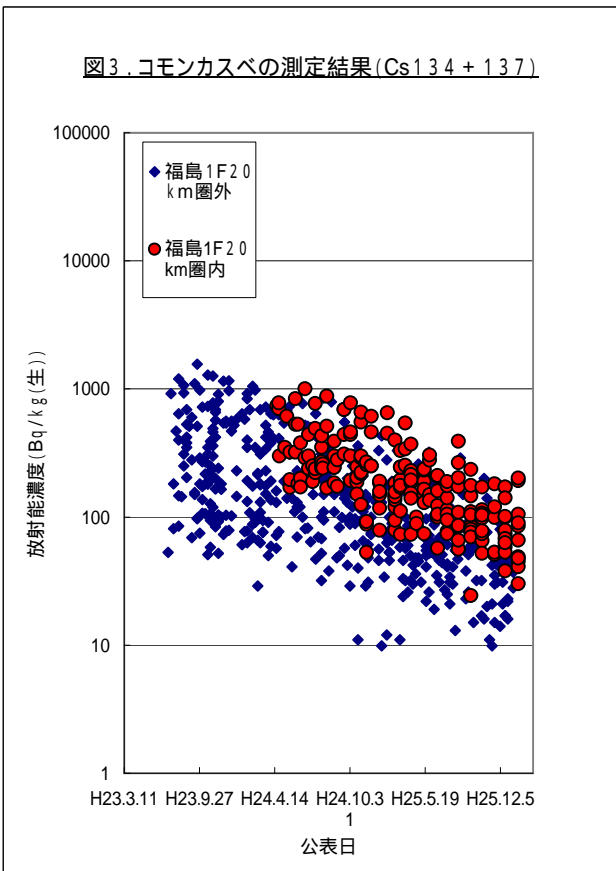
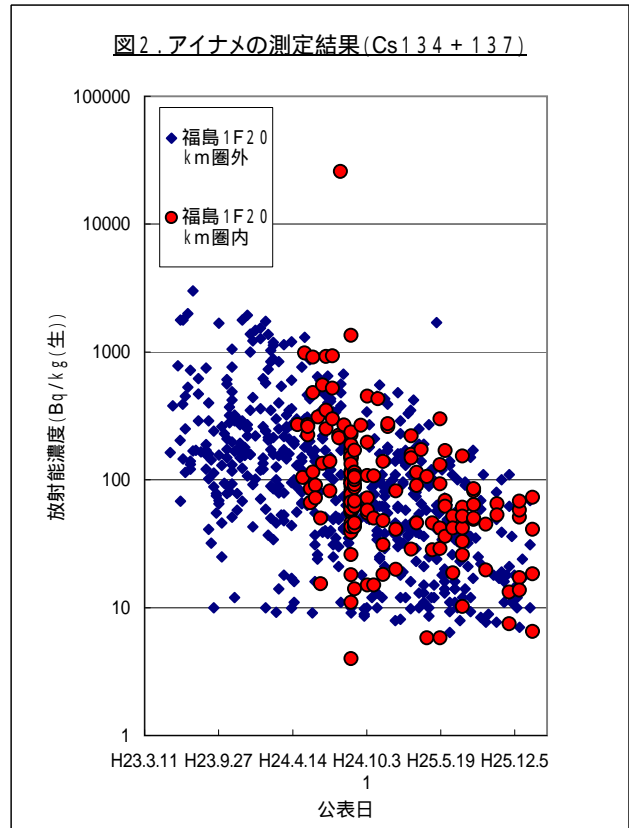
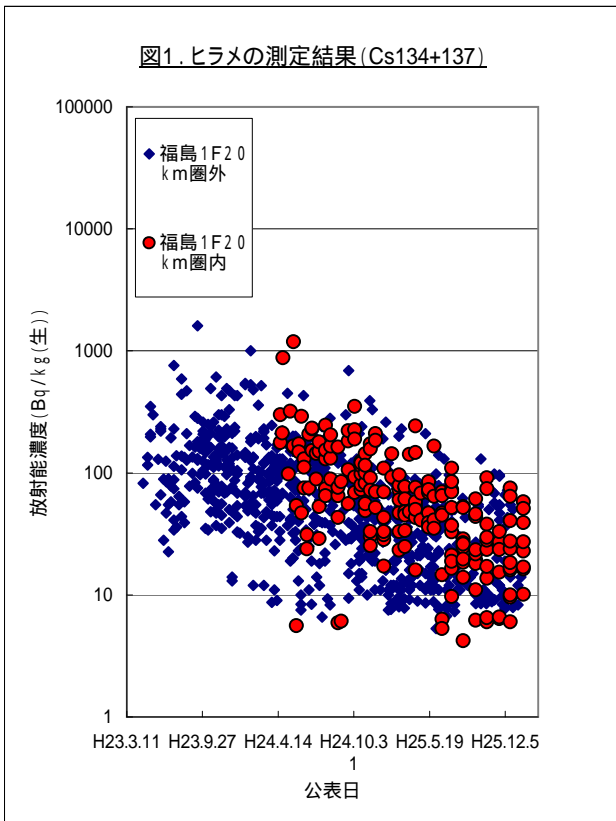


図 放射性Csが基準値を超えた魚種の割合の経時変化



(備考)NDの値は、Cs134で約2.2ベクレル/kg, Cs137で約3.1ベクレル/kg

(4) 魚類における放射性Cs濃度の経時変化



(備考) 福島1F20km圏外の測定結果は、水産庁HPより入手してグラフに入力した。



A: 物揚場付近、B: 東波除堤付近
 C: 南防波堤付近、D: 北防波堤付近
 E: 1～4号取水路開渠部付近
 F: 港湾口付近、G: 港湾中央付近

H25.2.8より、Aにシルトフェンス、Fに底刺し網を設置。
 H25.2.27より、Aのシルトフェンス内側及びBに底刺し網を連続設置。
 H25.3.5よりEにカゴ35個、更に3.13にEにカゴ15個を連続設置して、魚類継続捕獲中。
 H25.3.7～8に、Cで底刺し網を実施
 H25.3.12～13に、A,B,Dで底刺し網を実施。
 H25.3.15～16に、Gで底刺し網実施。
 H25.5.9～港湾口刺し網二重化。

図. 魚類捕獲場所

1. かご漁

捕獲日	捕獲場所	捕獲魚類数 (匹)	Cs濃度最高の試料 (魚類捕獲場所)	Cs濃度 (Bq/kg (生))		
				Cs-134	Cs-137	Cs合計
H24年10月	A	4	マアナゴ (A)	5,900	9,600	15,500
H24年12月	A,C	29	ムラソイ (A)	94,000	160,000	254,000
H25年1月	A,B,C,D	70	ムラソイ (B)	75,000	130,000	205,000
H25年2月	A,B,C,D,F	41	アイナメ (F)	260,000	480,000	740,000
H25年3月	A,B,C,D	74	ムラソイ (D)	69,000	130,000	199,000
H25年4月	A,B,C,D	109	ムラソイ (D)	59,000	110,000	169,000
H25年5月	A,B,C,D	69	ムラソイ (D)	55,000	110,000	165,000
H25年6月	A,B,C,D	59	ムラソイ (D)	72,000	140,000	212,000
H25年7月	A,B,C,D	41	ムラソイ (B)	57,000	120,000	177,000
H25年8月	A,B,C,D	15	ムラソイ (B)	60,000	130,000	190,000
H25年9月	A,B,C,D	13	ムラソイ (D)	22,000	47,000	69,000
H25.10.10	A,B,C,D	3	ムラソイ (D)	34,000	76,000	110,000
H25.10.31	A,B,C,D	6	ムラソイ (D)	22,000	51,000	73,000
H25.11.12	A,B,C,D	6	ムラソイ (D)	5,200	12,000	17,200
H25.11.20	A,B,C,D	2	クロソイ (A)	25,000	64,000	89,000
H25.12.4	A,B,C,D	17	イソイアヒメ (D)	2,600	6,400	9,000
H25.12.28	A,B,C,D	11	イソイアヒメ (B)	1,200	2,700	3,900
H26.1.9	A,B,C,D	29				測定・精査中

* ;シルトフェンス内にて捕獲

2. 港湾内底刺し網漁

捕獲日	捕獲場所	捕獲魚類数 (匹)	Cs濃度最高の試料 (魚類捕獲場所)	Cs濃度 (Bq/kg (生))		
				Cs-134	Cs-137	Cs合計
H25年3月	A,B,C,D,G	124	ムラソイ (B)	150,000	280,000	430,000
H25年4月	A,B,C,D,G	67	アイナメ (A)	56,000	110,000	166,000
H25年5月	A,B,C,D,G	148	タケノコメバル (B)	93,000	180,000	273,000
H25年6月	A,B,C,D,G	54	シロメバル (A)	39,000	77,000	116,000
H25年7月	A,B,C,D,G	63	ムラソイ (B)	36,000	73,000	109,000
H25年8月	A,B,C,D,G	41	タケノコメバル (G)	48,000	100,000	148,000
H25年9月	A,B,C,D,G	13	ヒラメ (C)	210	430	640
H25.10.4	A,B,D	4	ヒラメ (B)	320	790	1,110
H25.10.9	C,G	8	ヒラメ (G)	970	2,300	3,270
H25.10.18	A,B,D	8	クロソイ (A)	1,100	2,700	3,800
H25.10.22	C,G	4	クロソイ (G)	10,000	24,000	34,000
H25.10.29	A,B,D	9	カサゴ (B)	31,000	70,000	101,000
H25.11.7	C,G	5	マコガレイ (G)	1,100	2,500	3,600
H25.11.14	A,B,D	10	アイナメ (B)	4,300	9,900	14,200
H25.11.19	C,G	3	ヒラメ (G)	190	420	610
H25.11.26	A,B,D	4	ヒラメ (A)	120	340	460
H25.12.3	C,G	3	マコガレイ (G)	9,900	23,000	32,900
H25.12.12	A,B,D	5	シロメバル (A)	33,000	78,000	111,000
H25.12.27	A,B,D	11	シロメバル (B)	18,000	42,000	60,000
H25.12.30	C,G	3	スケトウダラ (C)	N D (8.1**)	13	13
H26.1.6	A,B,D	6				測定・精査中
H26.1.15	C,G	2				測定・精査中
H26.1.21	A,B,D	6				測定・精査中

3. 港湾口底刺し網

捕獲日	捕獲場所	捕獲魚類数 (匹)	Cs濃度最高の試料	Cs濃度 (B q / k g (生))		
				Cs-134	Cs-137	C s 合計
H25年 2月	F	307	アイナメ	180,000	330,000	510,000
H25年 3月	F	180	アイナメ	150,000	280,000	430,000
H25年 4月	F	36	シロメバル	31,000	59,000	90,000
H25年 5月	F	359	シロメバル	110,000	210,000	320,000
H25年 6月	F	182	シロメバル	45,000	90,000	135,000
H25年 7月	F	223	タケノコメバル	60,000	120,000	180,000
H25年 8月	F	143	アカエイ	20,000	42,000	62,000
H25年 9月	F	77	マコガレイ	11,000	25,000	36,000
H25.10.3	F	12	アカエイ	1,000	2,100	3,100
H25.10.7	F	14	ヒラメ	420	950	1,370
H25.10.8	F	2	ヒラメ	110	240	350
H25.10.11	F	20	マコガレイ	330	650	980
H25.10.17	F	9	クロダイ	870	2,000	2,870
H25.10.19	F	8	マコガレイ	5,800	13,000	18,800
H25.10.22	F	18	クロダイ	50	79	129
H25.10.29	F	13	タケノコメバル	26,000	58,000	84,000
H25.10.30	F	5	シロザケ	N D (11 ^{**})	14	14
H25.11.5	F	32	ヒラメ	1,400	3,100	4,500
H25.11.8	F	3	ヒラメ	120	290	410
H25.11.13	F	17	ムラソイ	19,000	43,000	62,000
H25.11.18	F	23	ムラソイ	18,000	41,000	59,000
H25.11.21	F	15	マコガレイ	450	1,100	1,550
H25.11.27	F	29	ムラソイ	40,000	91,000	131,000
H25.12.1	F	18	タケノコメバル	74,000	170,000	244,000
H25.12.2	F	12	クロダイ	900	2,100	3,000
H25.12.9	F	26	シロメバル	9,600	22,000	31,600
H25.12.13	F	10	ムラソイ	24,000	57,000	81,000
H25.12.17	F	14	ムラソイ	43,000	100,000	143,000
H25.12.24	F	3	試料損傷のため測定対象なし			
H25.12.25	F	9	ムラソイ	17,000	40,000	57,000
H25.12.26	F	5	シロメバル	18,000	44,000	62,000
H25.12.29	F	9	ムラソイ	33,000	80,000	113,000
H25.12.30	F	6	シロメバル	8,400	20,000	28,400
H26.1.5	F	14		測定・精査中		
H26.1.7	F	3				
H26.1.14	F	13				
H26.1.20	F	13				

** ; 検出限界値

捕獲魚類数合計	約 3,080
---------	---------

福島第一原子力発電所港湾魚類対策(実施状況)

現在実施している対策



魚類移動防止

- 1: 港湾口底刺し網設置、
- 2: 港湾口ブロックフェンス設置、
- 3: 堤防内側仕切り網設置、
- 4: 物揚場シルトフェンス/底刺し網設置

魚類捕獲

- 1: カゴ漁 、
- 2: 港湾内底刺し網 ●

[備考]

1. 港湾内底刺し網位置変更: 10月4日捕獲分より、物揚場付近の刺し網位置等を変更
捕獲数に大きな変動なし
2. 南北防波堤付近に設置した魚類移動防止網の台風等による損傷
(波浪影響のためと推定)
港湾口の底刺し網(二重)、ブロックフェンスには異常なし。
 - (1) 南防波堤付近設置網: H25年9月30日に損傷確認
(波浪の影響が強く復旧しても、再度損傷する可能性があるため、代替として
底刺し網の常設を検討中)
 - (2) 北防波堤付近設置網: H25年10月17日に損傷確認
(復旧作業完了)

H25.10～12採取分

魚種名	最大値	最小値	測定回数 (基準値超数)
ドチザメ	1070	5.5	4(2)
クロソイ	400	20.5	5(3)
マコガレイ	322	13.5	15(1)
カスザメ	279	36.7	8(4)
ババガレイ	253	7.7	10(3)
シロメバル	226	101	2(2)
コモンカスベ	201	91	29(9)
スズキ	173	7.4	10(1)
イシガレイ	147	ND	10(1)
ヒラメ	75	ND	28
アイナメ	73	6.5	11
ケムシカジカ	68	6.1	6
マゴチ	52	49	2
アカエイ	38	ND	7
クロダイ	33.9	22.1	3
ホシザメ	33.8	4.4	13
マトウダイ	22.3	ND	7
メイトガレイ	21.7	ND	6
マガレイ	21.2	ND	9
ホウボウ	16.5	ND	10
ニベ	15.3	4.3	3
マダイ	14.8	-	1
メジロザメ属	12.4	6.6	3
ヤナギムシガレイ	10.3	-	1
ヒラツメガニ	10.2	ND	5
カナガシラ	7.7	ND	9
マアジ	7.1	ND	2
マアナゴ	5.9	ND	7
チダイ	5.7	ND	9
ギンアナゴ	5.3	4.4	2
ショウサイフグ	5.3	-	1
オオクチイシナギ	ND	-	1
ガザミ	ND	-	13
クサウオ	ND	-	3
シログチ	ND	-	3
シロザケ	ND	-	2
ブリ	ND	-	3
マダコ	ND	-	2
ムシガレイ	ND	-	6

1. 100Bq/kg超えの状況(測定回数)

	基準値超え割合(%)	測定回数	基準値超え回数
H24第1四半期	37	312	114
H24第2四半期	39	293	113
H24第3四半期	25	342	87
H24第4四半期	30	253	75
H25第1四半期	20	322	63
H25第2四半期	10	252	26
H25年10月	5	66	3
H25年11月	10	110	11
H25年12月	13	95	12

2. 100Bq/kg超えの状況(魚種)

	基準値超え割合(%)	測定魚種数	基準値超え魚種数
H24第1四半期	38	53	20
H24第2四半期	39	49	19
H24第3四半期	31	48	15
H24第4四半期	38	34	13
H25第1四半期	27	37	10
H25第2四半期	19	37	7
H25年10月	6	33	2
H25年11月	21	29	6
H25年12月	20	30	6

図 放射性Csが基準値を超えた測定回数の割合の経時変化

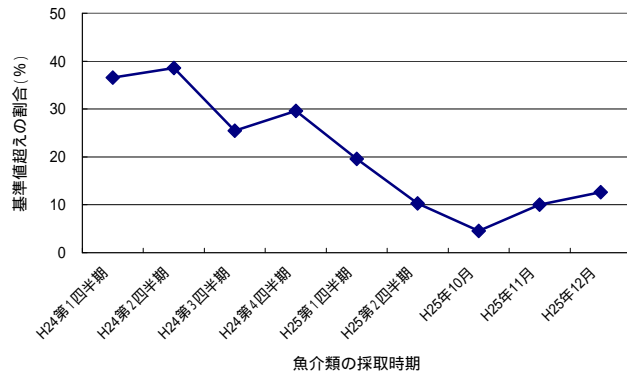
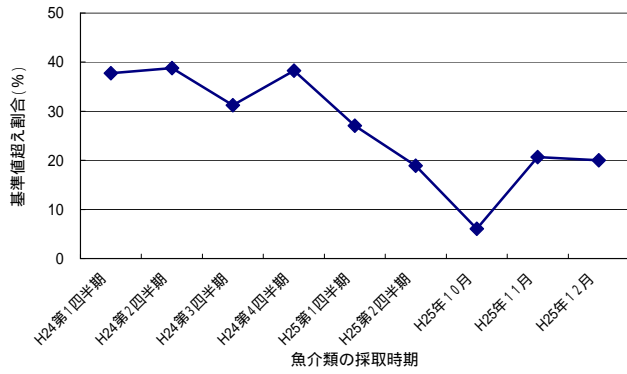


図 放射性Csが基準値を超えた魚種の割合の経時変化



【表1 - 1. 採取点ごとの測定結果(その1)】

地点(採取日)	魚種名 (青文字の魚は基準値100ベクレル/kg超え、括弧内はCs134、Cs137の合計(Bq/kg))
底1 (9 / 24)	コモンカスベ、ヒラメ、ホウボウ、カナガシラ、チダイ
底1 (10 / 29)	イシガレイ、マコガレイ、ホシザメ、カナガシラ、ヒラメ、マアナゴ、マガレイ、チダイ、マトウダイ、メイタガレイ コモンカスベ(120)
底1 (11 / 21)	コモンカスベ、イシガレイ、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、カナガシラ、チダイ、マアナゴ、マガレイ、マトウダイ、ムシガレイ
底1 (12 / 24)	ババガレイ、コモンカスベ、ヒラメ、スズキ、アイナメ、イシガレイ、マアナゴ、ギンアナゴ、マガレイ、チダイ、カナガシラ、ホウボウ、ムシガレイ
底2 (9 / 24)	コモンカスベ、ホウボウ、ヒラメ、マトウダイ、イシガレイ、マガレイ、ギンアナゴ、ホシザメ、チダイ、ジンドウイカ、マアジ、メイタガレイ
底2 (10 / 29)	マコガレイ、ヒラメ、ホシザメ、メイタガレイ、アイナメ、マトウダイ、ギンアナゴ、オオクチイシナギ、カナガシラ、シログチ、チダイ、ブリ、マアジ、ムシガレイ
底2 (11 / 21)	コモンカスベ、ヒラメ、スズキ、メイタガレイ、マコガレイ、アイナメ、アカエイ、マガレイ、ホシザメ、カナガシラ、チダイ、マアナゴ、マトウダイ、ムシガレイ
底2 (12 / 24)	コモンカスベ、スズキ、アイナメ、メイタガレイ、イシガレイ、ヤナギムシガレイ、ババガレイ、マガレイ、マトウダイ、マアナゴ、カナガシラ、チダイ、シログチ、ヒラメ、ホウボウ、ムシガレイ
底3 (8 / 11)	ホシザメ、マダイ、マガレイ、ヒラメ、マコガレイ、カナガシラ、イシガレイ、ホウボウ コモンカスベ(104)
底3 (9 / 7)	コモンカスベ、イシガレイ、ヒラメ、マコガレ、ホシザメ、カナガシラ
底3 (11 / 23)	アイナメ、ヒラメ、コモンカスベ、イシガレイ、マコガレイ、マガレイ、スズキ、ホシザメ、ショウサイフグ、チダイ
底3 (12 / 14)	アイナメ、イシガレイ、コモンカスベ、スズキ、マコガレイ、マガレイ、ヒラメ、カナガシラ、マアナゴ
底4 (8 / 11)	コモンカスベ、マコガレイ、ホシザメ、ムシガレイ、イシガレイ、カナガシラ、マダイ、アイナメ、ヒラメ、マガレイ
底4 (9 / 7)	コモンカスベ(104)、マコガレイ、ホシザメ、イシガレイ、ヒラメ、カナガシラ、ホウボウ、チダイ、マトウダイ
底4 (11 / 23)	コモンカスベ、マコガレイ、ホシザメ、マガレイ、イシガレイ、カナガシラ、チダイ、マトウダイ、ムシガレイ
底4 (12 / 24)	ババガレイ、マコガレイ、ホシザメ、メイタガレイ、ヒラメ、スズキ、マガレイ、イシガレイ、ホウボウ、カナガシラ、マアナゴ コモンカスベ(201)
地点(採取日)	魚種名 (青文字の魚は基準値100ベクレル/kg超え、括弧内はCs134、Cs137の合計(Bq/kg))
刺1 (9 / 6)	ヒラメ、ニベ、ガザミ、ヒラツメガニ コモンカスベ(114)
刺1 (10 / 31)	スズキ、コモンカスベ、ヒラメ、クロソイ、マコガレイ、ケムシカジカ、ホシザメ、ガザミ
刺1 (11 / 29)	ババガレイ、ケムシカジカ、コモンカスベ、クロダイ、ヒラメ、ガザミ スズキ(173)、クロソイ(163)
刺1 (12 / 27)	コモンカスベ、ヒラツメガニ、ヒラメ クロソイ(182)

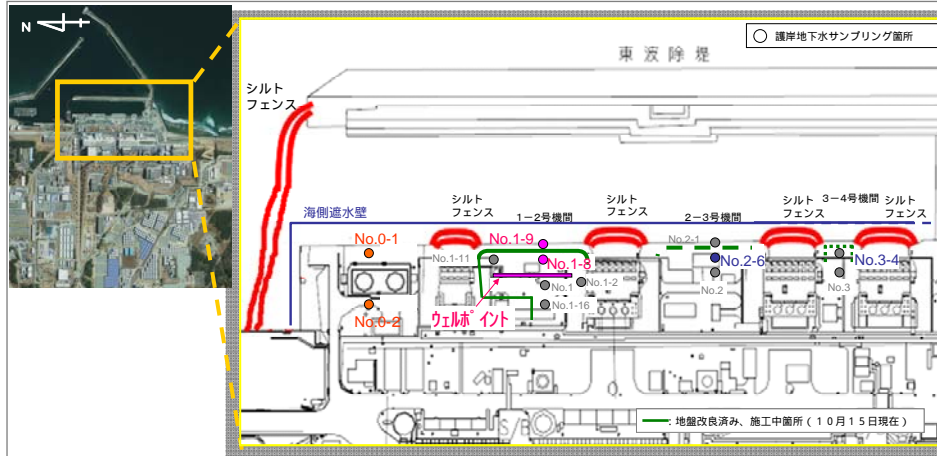
【表1 - 2 .採取点ごとの測定結果(その2)】

地点(採取日)	魚種名 (青文字の魚は基準値100ベクレル/kg超え、括弧内はCs134、Cs137の合計(Bq/kg))
刺2 (9/6)	マコガレイ、コモンカスベ、ヒラメ、メジロザメ属、ホシザメ、ヒラツメガニ、ガザミ
刺2 (10/31)	カスザメ、コモンカスベ、クロダイ、ヒラメ、マアジ、ドチザメ、アカエイ、ガザミ、シログチ、シロザケ
刺2 (11/29)	コモンカスベ、ケムシカジカ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ、アカエイ、イシガレイ シロメバル(101)
刺2 (12/27)	コモンカスベ、ヒラメ、マコガレイ
刺3 (9/13)	ホシザメ、マトウダイ、ホウボウ、ヒラメ、ニベ、マダイ、イシガレイ、ガザミ カスザメ(104)、コモンカスベ(101)
刺3 (10/31)	コモンカスベ、ヒラメ、ニベ、ホシザメ、メジロザメ属、ヒラツメガニ、ガザミ イシガレイ(147)
刺3 (11/15)	ババガレイ、コモンカスベ、ヒラメ、ホシザメ、ホウボウ、ガザミ、シロザケ、ブリ
刺3 (12/13)	コモンカスベ、クロソイ、ケムシカジカ、スズキ、ヒラメ、ヒラツメガニ、ガザミ、クサウオ
刺4 (9/13)	ババガレイ、カスザメ、アカエイ、ヒラメ、マダイ、ニベ、メジロザメ属、ガザミ、マトウダイ コモンカスベ(171)
刺4 (10/10)	コモンカスベ、ヒラメ、アカエイ、マダイ、アイナメ、メジロザメ属、チダイ、ガザミ
刺4 (11/15)	カスザメ、アイナメ、アカエイ、マコガレイ、ヒラメ、ケムシカジカ、ホシザメ、ホウボウ、ガザミ、ブリ ドチザメ(192)、コモンカスベ(170)、ババガレイ(145)
刺4 (12/13)	コモンカスベ、マコガレイ、アイナメ、ヒラメ、スズキ、ガザミ、クサウオ、ヒラツメガニ、マダコ ババガレイ(253)、シロメバル(226)、カスザメ(101)
刺5 (8/19)	コモンカスベ、ヒラメ、アイナメ、ガザミ ババガレイ(140)
刺5 (9/20)	ヒラメ、アイナメ、ニベ、マダイ、ホシザメ ドチザメ(112)、コモンカスベ(107)
刺5 (11/25)	ヒラメ、ホウボウ コモンカスベ(171)、ババガレイ(120)
刺5 (12/2)	ヒラメ、マトウダイ、クロダイ、ニベ、ガザミ クロソイ(400)、コモンカスベ(192)、カスザメ(126)
刺7 (8/19)	ヒラメ コモンカスベ(235)、ドチザメ(205)
刺7 (9/20)	コモンカスベ、アイナメ、ヒラメ、マコガレイ、ニベ シロメバル(350)
刺7 (11/25)	カスザメ、マコガレイ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ ドチザメ(1070)、コモンカスベ(141)
刺7 (12/2)	ヒラメ、ドチザメ マコガレイ(322)、カスザメ(142)、コモンカスベ(105)
刺8 (10/6)	マゴチ、ホシザメ、ホウボウ、ニベ、ヒラメ、ガザミ コモンカスベ(182)
刺8 (11/9)	コモンカスベ、マコガレイ、ホシザメ、ヒラメ、ホウボウ、メジロザメ属、ケムシカジカ、アカエイ、ガザミ、ヒラツメガニ
刺8 (11/18)	ヒラメ、マゴチ、カスザメ、ホシザメ、ホウボウ、アカエイ、ガザミ コモンカスベ(101)
刺8 (12/9)	コモンカスベ、ホウボウ、クサウオ、マダコ カスザメ(279)

(1) 護岸エリアの汚染状況と対策の進捗

- 護岸付近の地下水観測孔や発電所港湾内の水の分析結果から、汚染水が海に流出していることが分かりました。
- 汚染水の現状を踏まえ「抜本対策」と「緊急対策」をあわせて実施します。また、引き続きモニタリングを行い影響を確認し、公表いたします。

敷地内地下水のモニタリング状況



< 水質測定結果(抜粋) : 括弧内は採取日 >
(単位: ベクレル/リットル NDは検出限界値未満)

No. 0-1

セシウム137: 15(1/19)
全ベータ: 89(1/19)
トリチウム: 37, 000(1/12)

No. 0-2

セシウム137: ND(1/19)
全ベータ: 22(1/19)
トリチウム: 4, 700(1/12)

No. 1-9(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: 7. 0(1/21)
全ベータ: 85(1/21)
トリチウム: 480(1/19)

No. 1-8

セシウム137: 65(1/20)
全ベータ: 32, 000(1/20)
トリチウム: 10, 000(1/13)

ウェルポイントくみ上げ水

セシウム137: 24(1/20)
全ベータ: 140, 000(1/20)
トリチウム: 110, 000(1/13)

No. 2-6

セシウム137: ND(1/21)
全ベータ: 2, 100(1/21)
トリチウム: 1, 100(1/16)

No. 3-4

セシウム137: 2. 7(1/15)
全ベータ: ND(1/15)
トリチウム: ND(1/15)

【参考】法令告示濃度(単位: ベクレル/リットル)
・セシウム137: 90 ・トリチウム: 60, 000

1-2号機の地下水の値は、海側に行くに従って減少しており、**ウェルポイント・地盤改良等の対策効果が現れている**と考えています。

護岸エリア対策の進捗と効果

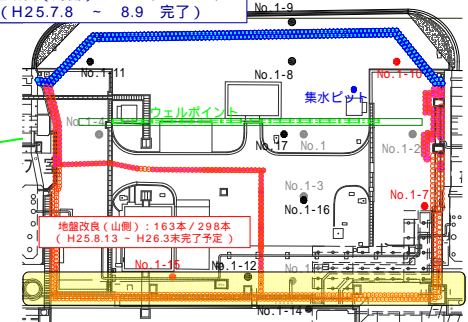
護岸エリア対策の進捗状況



ウェルポイント(くみ上げ井戸)の敷設状況

1-2号機間の地盤改良(水ガラス注入)等の進捗状況

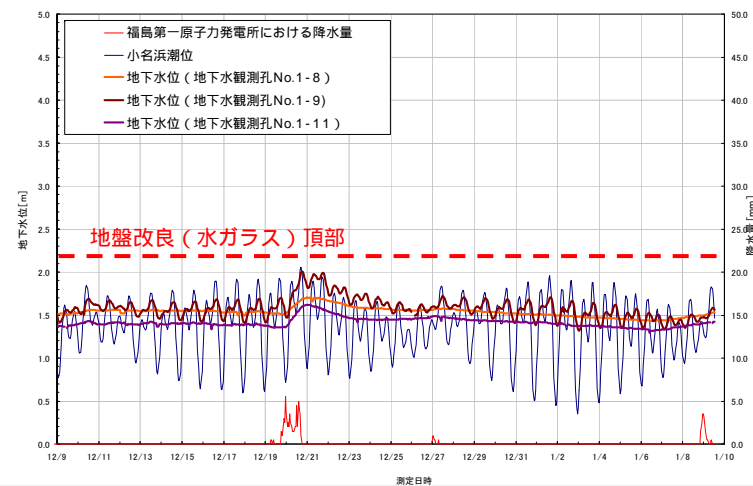
地盤改良(海側): 228本/228本
(H25.7.8 - 8.9 完了)



施工範囲・工程は現場状況により変更の可能性あり
マスキングエリアの地盤改良実施要否については、今後検討

※2-3号機間は海側完了・山側着手済み、3-4号機間については、海側・山側ともに着手済み。

地下水位と潮位の推移



○ウェルポイントにおける地下水のくみ上げにより、地盤改良箇所より山側の地下水水位は、**地盤改良(水ガラス)の頂部よりも低い値で推移**しています。

(2) 海域モニタリングの状況

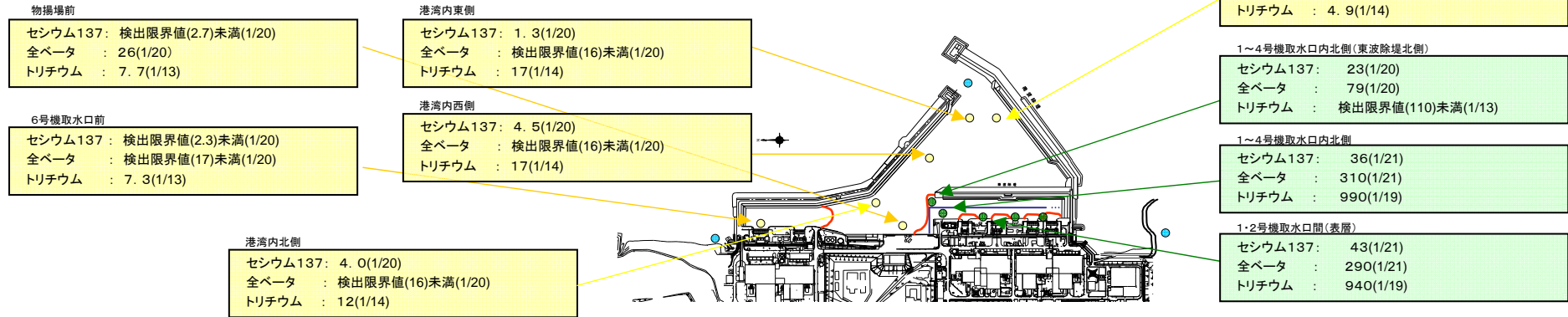
港湾内（シルトフェンス外側）・港湾境界付近・周辺海域の海水中濃度はほぼ検出限界値未満で影響は限定的です。また、前回ご報告時と比べ、有意な変動は見られません。

○港湾内・港湾境界付近における海域モニタリング地点

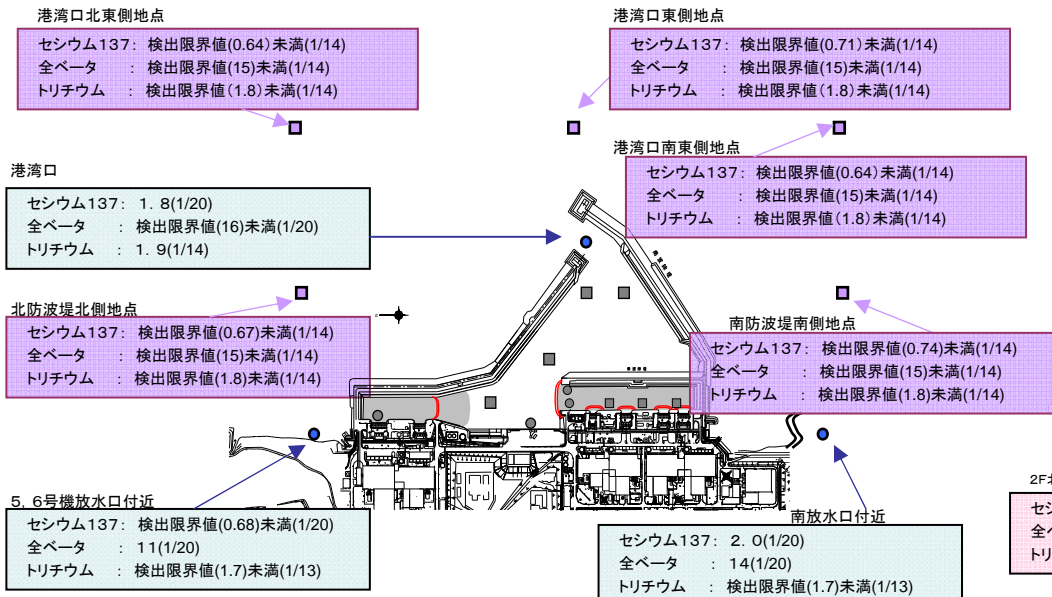
○分析項目および測定頻度
 ・トリチウム、セシウム、全ベータ：1回/週
 ・ストロンチウム：1回/月

- 海洋への影響をモニタリング
- 港湾内の放射能濃度の分布をモニタリング
- 港湾内への影響をモニタリング(地点抜粋)

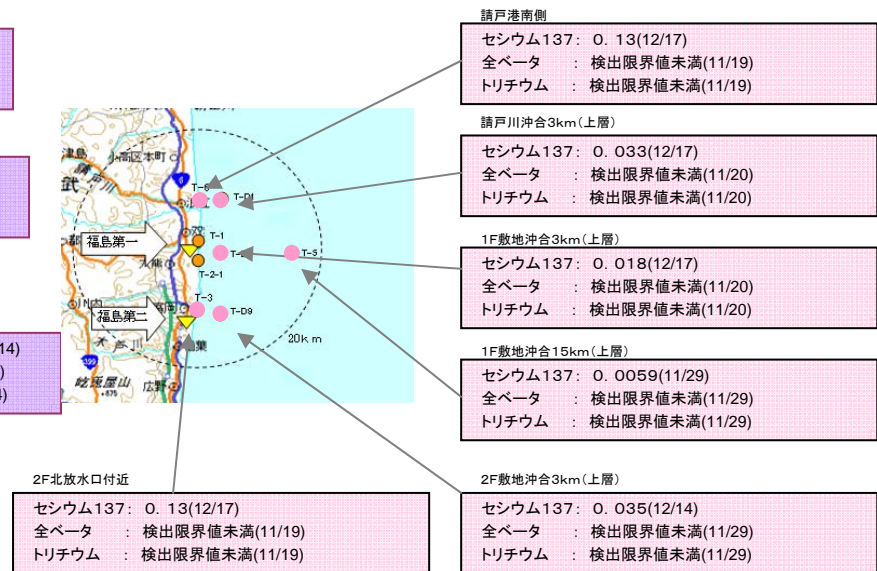
※()内日付は採取日
 ※単位：ベクレル/リットル



○港湾内・港湾外近傍における海域モニタリング地点(強化地点)



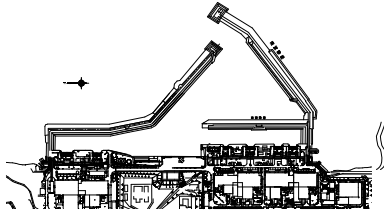
○発電所周辺海域モニタリング地点



港湾外近傍・港湾境界のモニタリング結果推移

NDは検出限界値未満、()内数字は検出限界値を示す

平成26年1月24日
東京電力株式会社



港湾口の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.8.19	H25.10.11	H25.11.5	H25.11.11	H25.11.18	H25.11.25	H25.12.2	H25.12.9	H25.12.17	H25.12.24	H25.12.29	H26.1.5	H26.1.14	H26.1.20
セシウム134	1.6	2.7	ND (0.92)	ND (1.3)	ND (1.3)	ND (1.0)	ND (1.0)	ND (1.0)	ND (1.0)	ND (1.5)	3.3	ND (0.92)	ND (1.3)	ND (1.8)
セシウム137	4.7	7.3	ND (0.90)	ND (1.0)	2.8	ND (0.90)	1.5	ND (0.90)	ND (1.5)	5.8	1.7	ND (1.1)	ND (1.1)	1.8
全ベータ	69	ND (15)	ND (15)	ND (16)	ND (16)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (16)	ND (16)	ND (16)	ND (17)	ND (16)	ND (16)
トリチウム	68	4.3	2.4	ND (2.1)	5.9	ND (1.8)	3.3	ND (1.8)	ND (1.8)	2.2	1.9	ND (1.6)	1.9	測定中
ストロンチウム90	49	-	-	-	-	ND (0.19)	-	-	-	-	-	-	-	-

5,6号機放水口北側の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.6.26	H25.7.8	H25.10.14	H25.10.21	H25.10.28	H25.11.4	H25.11.11	H25.11.18	H25.11.25	H25.12.2	H25.12.9	H25.12.16	H25.12.23	H25.12.30	H26.1.6	H26.1.13	H26.1.20
セシウム134	ND (1.9)	1.4	ND (1.0)	ND (1.0)	ND (1.0)	ND (1.6)	ND (1.2)	ND (1.2)	ND (1.2)	ND (1.3)	ND (1.3)	ND (0.70)	ND (0.62)	ND (0.70)	ND (0.78)	ND (0.81)	ND (0.52)
セシウム137	3.3	2.5	1.5	ND (1.2)	ND (1.3)	ND (1.5)	ND (1.2)	ND (1.6)	ND (1.2)	ND (1.4)	1.8	ND (0.53)	0.99	0.82	2.2	ND (0.82)	ND (0.68)
全ベータ	ND (22)	ND (19)	ND (16)	ND (16)	ND (15)	ND (16)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (17)	ND (15)	8.9	12	12	17	11	11
トリチウム	8.6	3.7	2.4	ND (1.7)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.9)	ND (2.0)	4.8	ND (1.7)	5.1	ND (1.6)	ND (2.1)	ND (1.5)	4.9	ND (1.7)	測定中
ストロンチウム90	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

12/16以降全 値は検出限界値を
下げて測定したため検出

南放水口付近の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.7.15	H25.9.30	H25.10.7	H25.10.14	H25.10.21	H25.10.28	H25.11.4	H25.11.11	H25.11.18	H25.11.25	H25.12.2	H25.12.9	H25.12.16	H25.12.24	H25.12.30	H26.1.6	H26.1.13	H26.1.20
セシウム134	ND (1.2)	ND (1.2)	ND (1.3)	ND (1.0)	ND (1.3)	ND (1.3)	ND (1.3)	ND (0.83)	ND (1.3)	ND (1.2)	ND (0.98)	ND (1.4)	ND (1.1)	ND (0.71)	ND (0.77)	ND (0.62)	ND (0.73)	ND (0.81)
セシウム137	3.0	ND (1.5)	ND (1.4)	ND (1.1)	ND (1.3)	2.9	ND (1.3)	ND (1.3)	ND (1.3)	ND (1.5)	ND (1.2)	ND (1.3)	1.8	0.69	ND (0.55)	ND (0.58)	ND (0.59)	2.0
全ベータ	ND (21)	ND (18)	ND (21)	ND (17)	ND (17)	ND (18)	ND (17)	ND (16)	ND (18)	ND (17)	ND (18)	ND (15)	13	12	13	10	15	14
トリチウム	ND (2.9)	ND (1.7)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.7)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.9)	ND (2.0)	1.9	ND (1.7)	ND (1.6)	ND (1.6)	ND (1.9)	ND (1.5)	ND (1.8)	ND (1.7)	測定中
ストロンチウム90	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

12/16以降全 値は検出限界値を
下げて測定したため検出

北防波堤北側の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.8.14	H25.10.8	H25.10.10	H25.10.18	H25.10.28	H25.11.7	H25.11.13	H25.11.20	H25.11.27	H25.12.3	H25.12.13	H25.12.17	H25.12.23	H25.12.29	H26.1.7	H26.1.14
セシウム134	ND (1.5)	ND (0.64)	ND (0.67)	ND (0.81)	ND (0.60)	ND (0.78)	ND (0.73)	ND (0.67)	ND (0.54)	ND (0.70)	ND (0.85)	ND (0.56)	ND (0.78)	ND (0.54)	ND (0.64)	ND (0.76)
セシウム137	ND (1.4)	ND (0.73)	ND (0.80)	ND (0.64)	ND (0.59)	ND (0.68)	ND (0.64)	ND (0.68)	ND (0.70)	ND (0.60)	ND (0.74)	ND (0.68)	ND (0.75)	ND (0.72)	ND (0.59)	ND (0.67)
全ベータ	ND (18)	ND (15)	-	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (15)	ND (16)	ND (15)	ND (17)	ND (15)
トリチウム	4.7	ND (1.7)	-	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (2.2)	ND (2.1)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.5)	ND (1.9)	ND (1.8)	ND (1.7)

南防波堤南側 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.10.4	H25.10.8	H25.10.10	H25.10.18	H25.10.28	H25.11.7	H25.11.13	H25.11.20	H25.11.27	H25.12.3	H25.12.13	H25.12.17	H25.12.23	H25.12.29	H26.1.7	H26.1.14
セシウム134	ND (0.61)	ND (0.88)	ND (0.63)	ND (0.70)	ND (0.63)	ND (0.68)	ND (0.71)	ND (0.61)	ND (0.45)	ND (0.62)	ND (0.72)	ND (0.55)	ND (0.84)	ND (0.75)	ND (0.72)	ND (0.68)
セシウム137	ND (0.85)	ND (0.71)	ND (0.71)	ND (0.76)	ND (0.69)	ND (0.86)	ND (0.58)	ND (0.84)	ND (0.59)	ND (0.63)	ND (0.53)	ND (0.57)	ND (0.46)	ND (0.72)	ND (0.59)	ND (0.74)
全ベータ	ND (15)	ND (15)	-	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (15)	ND (16)	ND (15)	ND (17)	ND (15)
トリチウム	ND (1.6)	ND (1.7)	-	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (2.2)	ND (2.1)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.5)	ND (1.9)	ND (1.8)	ND (1.7)	ND (1.8)

港湾口東側の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.10.8	H25.10.18	H25.10.28	H25.11.7	H25.11.13	H25.11.20	H25.11.27	H25.12.3	H25.12.13	H25.12.17	H25.12.23	H25.12.29	H26.1.7	H26.1.14
セシウム134	ND (0.76)	ND (1.2)	ND (0.54)	ND (0.67)	ND (0.52)	ND (0.66)	ND (0.63)	ND (0.77)	ND (0.62)	ND (0.87)	ND (0.72)	ND (0.77)	ND (0.80)	ND (0.71)
セシウム137	1.4	1.6	ND (0.70)	ND (0.64)	ND (0.64)	ND (0.50)	ND (0.78)	ND (0.58)	ND (0.53)	ND (0.78)	0.73	ND (0.67)	ND (0.64)	ND (0.71)
全ベータ	ND (15)	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (15)	ND (16)	ND (15)	ND (17)	ND (15)
トリチウム	6.4	2.9	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (2.2)	ND (2.1)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.5)	ND (1.9)	ND (1.8)	ND (1.7)	ND (1.8)

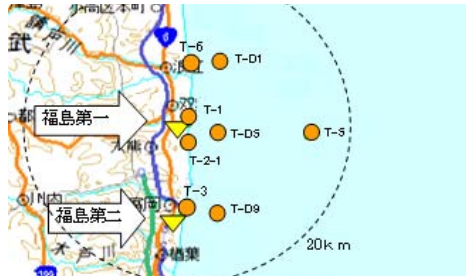
港湾口北東側の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.11.7	H25.11.13	H25.11.20	H25.11.27	H25.12.3	H25.12.13	H25.12.17	H25.12.23	H25.12.29	H26.1.7	H26.1.14
セシウム134	ND (0.67)	ND (0.76)	ND (0.70)	ND (0.77)	ND (0.70)	ND (0.68)	ND (0.58)	ND (0.68)	ND (0.77)	ND (0.84)	ND (0.60)
セシウム137	ND (0.53)	ND (0.76)	ND (0.70)	ND (0.71)	ND (0.69)	ND (0.58)	ND (0.45)	ND (0.85)	ND (0.67)	ND (0.73)	ND (0.64)
全ベータ	ND (15)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (15)	ND (16)	ND (15)	ND (17)	ND (15)
トリチウム	ND (1.9)	ND (2.2)	ND (2.1)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.5)	ND (1.9)	ND (1.8)	ND (1.7)	ND (1.8)

港湾口南東側の海水の濃度推移 (単位:ペクレル/リットル)

採取日	H25.11.7	H25.11.13	H25.11.20	H25.11.27	H25.12.3	H25.12.13	H25.12.17	H25.12.23	H25.12.29	H26.1.7	H26.1.14
セシウム134	ND (0.69)	ND (0.63)	ND (0.80)	ND (0.69)	ND (0.73)	ND (0.65)	ND (0.77)	ND (0.76)	ND (0.67)	ND (0.77)	ND (0.73)
セシウム137	ND (0.54)	ND (0.76)	ND (0.81)	ND (0.58)	ND (0.69)	ND (0.74)	ND (0.64)	ND (0.64)	ND (0.80)	ND (0.64)	ND (0.64)
全ベータ	ND (15)	ND (17)	ND (16)	ND (16)	ND (15)	ND (15)	ND (15)	ND (16)	ND (15)	ND (17)	ND (15)
トリチウム	ND (1.9)	ND (2.2)	ND (2.1)	ND (1.8)	ND (1.8)	ND (1.6)	ND (1.5)	ND (1.9)	ND (1.8)	ND (1.7)	ND (1.8)

発電所周辺海域の海水中放射性物質濃度の変化



NDは検出限界値未満。()内数字は検出限界値を示す。

2F北放水口付近

	H25.8.6	H25.10.1	H25.10.22	H25.10.29	H25.11.5	H25.11.12	H25.11.19	H25.11.26	H25.12.3	H25.12.11	H25.12.17
セシウム134	0.087	0.19	0.17	0.094	0.066	0.054	0.061	0.055	0.062	0.082	0.060
セシウム137	0.17	0.40	0.41	0.20	0.16	0.13	0.15	0.11	0.12	0.19	0.13
全ベータ	ND(17)	ND(15)			ND		ND		測定中		測定中
トリチウム	0.93	ND(0.32)			ND		ND		測定中		測定中
ストロンチウム90											

請戸港南側(H25.8.5新設測点)

	H25.8.13	H25.10.1	H25.10.22	H25.10.29	H25.11.5	H25.11.12	H25.11.19	H25.11.26	H25.12.3	H25.12.10	H25.12.17
セシウム134	0.29	0.074	0.15	0.039	0.038	0.048	0.041	0.12	0.038	0.090	0.052
セシウム137	0.061	0.24	0.34	0.078	0.087	0.10	0.10	0.27	0.095	0.21	0.13
全ベータ		ND(17)			ND		ND		測定中		測定中
トリチウム		0.58			ND		ND		測定中		測定中
ストロンチウム90											

請戸川沖合3km(上層)

	H25.7.2	H25.8.6	H25.9.3	H25.9.18	H25.10.4	H25.10.18	H25.11.7	H25.11.20	H25.11.27	H25.12.3	H25.12.17
セシウム134	0.027	0.053	0.0020	0.014	0.0050	0.10	0.016	0.020	0.025	0.0094	0.014
セシウム137	0.055	0.011	0.0073	0.029	0.0099	0.22	0.038	0.039	0.054	0.020	0.033
全ベータ	ND(18)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		測定中	
トリチウム	ND(0.34)	ND	1.3	1.6	ND	ND	0.66	ND		測定中	
ストロンチウム90	ND(0.01)	ND	ND		ND		0.011				

1F敷地沖合3km(上層)

	H25.7.2	H25.8.6	H25.9.3	H25.9.18	H25.10.4	H25.10.18	H25.11.7	H25.11.20	H25.12.3	H25.12.13	H25.12.17
セシウム134	0.017	0.0057	0.0052	0.023	0.0050	0.10	0.012	0.0061	0.010	0.032	0.0064
セシウム137	0.036	0.019	0.012	0.052	0.0099	0.22	0.035	0.013	0.021	0.078	0.018
全ベータ	ND(18)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	測定中		測定中
トリチウム	ND(0.38)	ND	0.94	1.3	0.38	0.44	0.45	ND	測定中		測定中
ストロンチウム90	ND(0.009)	ND	ND		ND		0.011		測定中		

2F敷地沖合3km(上層)

	H25.7.3	H25.8.7	H25.9.6	H25.9.18	H25.10.5	H25.10.18	H25.11.13	H25.11.22	H25.11.29	H25.12.5	H25.12.14
セシウム134	0.017	0.0058	0.010	0.022	0.0056	0.069	0.0054	0.011	0.023	0.026	0.017
セシウム137	0.027	0.013	0.022	0.046	0.016	0.15	0.015	0.023	0.052	0.066	0.035
全ベータ	ND(18)	ND	ND	ND	ND	ND	ND		ND		測定中
トリチウム	ND(0.38)	ND	ND	1.3	ND	ND	ND		ND		測定中
ストロンチウム90	ND(0.009)	ND	ND		ND		ND				

1F敷地沖合1.5km(上層)

	H25.7.3	H25.8.7	H25.9.6	H25.9.18	H25.10.4	H25.10.28	H25.11.13	H25.11.22	H25.11.29	H25.12.5	H25.12.14
セシウム134	0.0058	ND	ND	ND	ND	0.0054	0.0019	ND	0.0017	測定中	測定中
セシウム137	0.013	0.0049	0.0027	0.0029	0.0027	0.013	0.0067	0.034	0.0059	測定中	測定中
全ベータ	ND(18)	ND	ND	ND	ND		ND		ND		
トリチウム	ND(0.38)	ND	ND	1.1	ND		ND		ND		
ストロンチウム90	ND(0.01)	ND	ND		ND		ND				

世界最新鋭の石炭火力発電所プロジェクトについて

当社は、福島第一原子力発電所事故により多大なご迷惑をお掛けしている福島県の経済復興や雇用回復・創出のお役に立たせて頂きたいとの強い想いで、福島復興に向けた主要な取り組みである『世界最新鋭の石炭火力発電所プロジェクト』を進めております。漁業事業者の皆さまにおかれましては、プロジェクトの趣旨をご理解いただき早期実現に向けて何卒ご協力をお願い申し上げます。

1. プロジェクトの検討状況

当社広野火力発電所、常磐共同火力株式会社勿来発電所の2地点で各1基ずつ、高出力・高効率化に向けた技術開発が進められている「50万kW級石炭ガス化複合発電(IGCC)」設備の実証を行うべく、技術的な検討、各種調査を実施中。



2. プロジェクトの効果(暫定的試算)

- プロジェクトの建設最盛期には、2基分で、最大2,000人/日規模の雇用。
- 環境アセスメント着手から運用を含めた数十年間での経済波及効果は1,500億円以上。

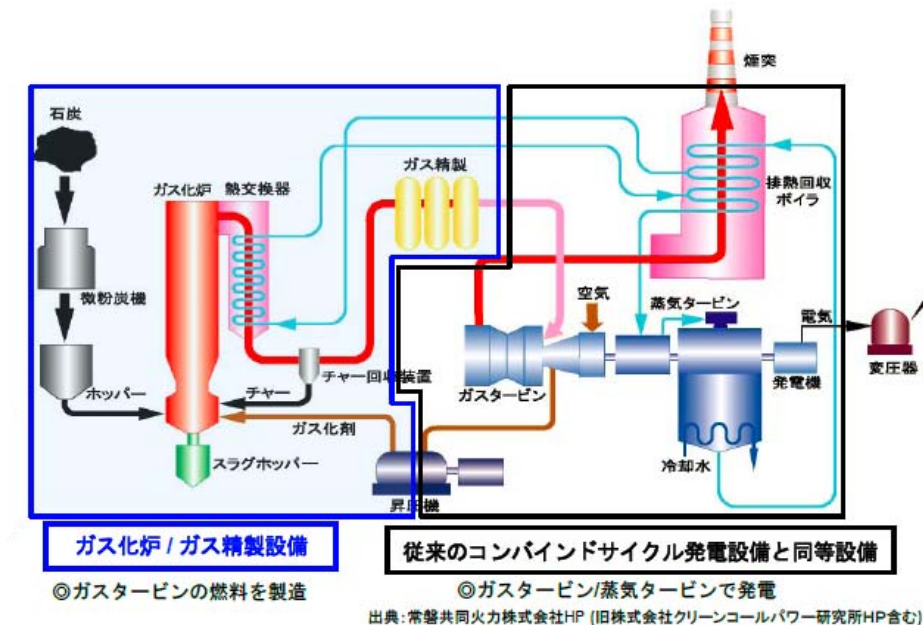
3. プロジェクトの早期実現

- 早期の経済復興や雇用回復・創出に向けた建設着工の前倒しが最大の課題であり、そのためには環境アセスメントの迅速化が不可欠。
- 当社としての最大限の努力はもとより、国、福島県、立地自治体、地域の皆さま等の多大なるご理解並びに多様なご協力・ご支援を賜り、2020年代初頭の運転開始を目指す。

【参考】

石炭ガス化複合発電(IGCC: Integrated coal Gasification Combined Cycle)

- 我が国が誇るクリーンコールテクノロジー(CCT)。
- 石炭をガス化し、コンバインドサイクル(ガスタービンと蒸気タービンの組み合わせ)で発電する方式。
- 同規模の従来型石炭火力発電よりも高効率であり、約15%のCO₂排出量の低減を図ることが可能。



4. 海域現況調査計画

本調査は、環境影響評価法に基づく環境影響評価手続きの一環として行うものです。

(3) 調査範囲 当社広野火力発電所、常磐共同火力株式会社勿来発電所の前面、
ならびに周辺の海域（図1、図2の通り）

(1) 調査期間 平成26年 4月 ～ 平成27年 3月（1年間）を予定

(2) 調査項目 表1の通り

表1 現地調査項目

調査項目		調査時期	備考
水環境	水質	四季 各1回	
	水温		
	流況		流向流速計設置
	水温連続測定	通年	水温計設置
	底質	期間中 1回	
動・植物	魚等の遊泳動物	四季 各1回	
	潮間帯生物		
	底生生物		
	卵・稚仔		
	プランクトン		
	藻場	期間中 2回	

図1 広野地点 海域調査範囲

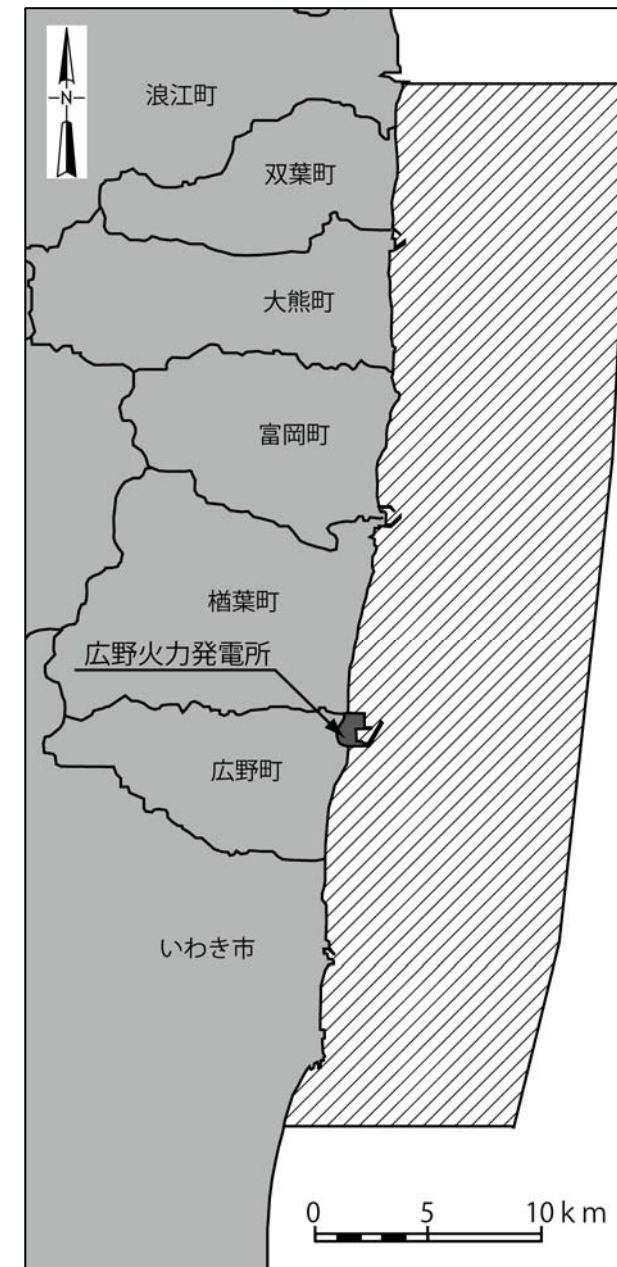
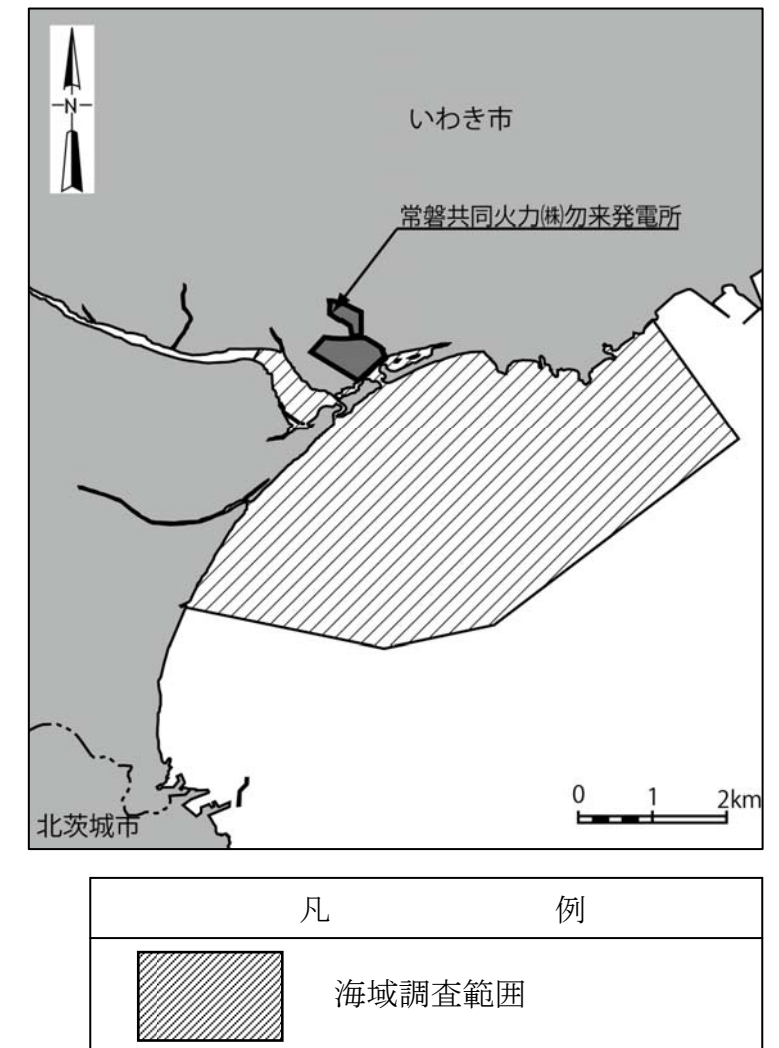


図2 勿来地点 海域調査範囲



以上